

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	茶源郷和東活性化対策プロジェクト		実施期間	平成26年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>和東町は、少子高齢化や若年層の転出等で人口が毎年100人程度減少しており、このままでは和東町全体が限界集落に近い状況になることが予想される。それを防ぐためにも、雇用創出や交流人口の増加をより一層図り、さらには住民との協働によるまちづくりを進めて定住人口の維持あるいは増加に繋げていく施策が必要とされている。</p> <p>また、本町の基幹産業である「お茶」は、生産量、生産額とも府内一という実績であるが、山間部という地形から機械化が図れず、生産規模拡大が進まない状況にある。茶農家の高齢化も進んでおり、茶畑の維持が困難となった結果、管理放棄された荒廃茶園も見受けられる。さらに近年、「お茶」の販売価格も伸び悩んでおり、知名度の向上や品質の向上はもちろん、茶農家の担い手育成などへの積極的な取り組みが必要とされている。</p> <p>あわせて、「茶源郷和東」の知名度を高め、地域資源の活用と2次・3次産業との融合による6次産業化を推進するとともに、京都府景観資産登録第一号に認定された茶畑景観を保護し、観光客誘致に活用するなど、交流人口の増大による、町の活性化が求められている。持続可能なまちづくりを目指し、長期的な視野に立った地域社会の活性化、ひとつづくりが必要とされている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「和東茶」や「茶畑景観」を活用した取組、「日本で最も美しい村」連合による取組、さらには宇治茶の「世界文化遺産登録」に向けた動きを活用し、交流人口の増加を図るとともに、地域ブランドの確立及び知名度の向上を図る。 ・そのために、和東町と住民、近隣市町村や大学連携等が一体となったまちづくりを進め、町のさらなる活性化を図る。 ・茶源郷まつりなどを通して宇治茶の主産地としての知名度を上げ、宇治茶の郷 和東として消費拡大、雇用確保、高収益型の農業経営を確立し、茶農家の生産意欲向上を図る。 ・職員の意識改革、自ら行動し成果を出す職員の育成に取り組む。 ・ICTを活用し、過疎高齢化が進む本町の地域コミュニティの活性化及び住民サービスの向上に取り組む。 							
	総事業費（千円）	20,290	本年度事業費（千円）	20,290	交付金額（千円）	8,257		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	和東町協働のまちづくり・ひとつづくり推進研究事業	交付対象事業	早稲田大学との協働により、まちづくり・人材育成を図る			<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学マニフェスト研究所の研究員が、職員へのヒアリングを実施し、和東町職員が抱える課題の抽出・解決法の提案を行った。 ・係長級以上の職員に対し、リーダー育成に関するワークショップを1回実施した。 		
	日本で最も美しい村連合事業	交付対象事業	NPO法人「日本で最も美しい村」連合活動費			<ul style="list-style-type: none"> ・日本で最も美しい村をPRするタペストリー2本を作製 ・池袋そごう西武で行われた京都物産店に出品し日本で最も美しい村・和東のPRを図った。 		
	観光パンフレット作成事業	交付対象事業	茶源郷和東をPRする観光パンフレットを作成			<ul style="list-style-type: none"> ・京都工芸繊維大学の大学院生とともに、大都市圏の住民向けに、視覚で魅せることを重視した観光パンフレットを作製した。 		
	出品茶推進事業	交付対象事業	茶品評会に出品する和東町出品茶推進委員会に対して補助			<ul style="list-style-type: none"> 出品の奨励や摘み子の確保等を行い、町内出品茶の振興発展を図った。 京都府茶品評会出品数：合計12点（煎茶10点（うち手摘み4点） てん茶2点） 		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：和東町

住民協働事業	茶源郷まつり事業	交付対象事業	行政と住民の協働によるお茶のイベント「茶源郷まつり」開催に対して補助	町民全体が茶源郷まつりをとおしてまちづくりへの関わりと関心を高められた。	
	地域ブランド育成支援事業	交付対象事業	新商品開発・6次産業化を通して和東ブランドを育成・普及	リーガロイヤルホテル和東茶フェア（京都、大阪、東京）や茶源郷和東満喫イベントの開催、PR資材等を作製し、和東ブランドを広くPRした。	
	景観を活かしたまちづくり事業	交付対象事業	景観計画・条例策定に係る事業費	・京都工芸繊維大学の大学院生とともに、景観計画策定に向け、町民を対象に景観に関するアンケートを実施 ・アンケートをもとに、住民を対象として景観を活かしたまちづくりをテーマにワークショップを実施	
	和東町地域力推進事業	交付対象事業	ガラス温室の運営管理費とワークショップ運営費	・ガラス温室を活用した収穫体験ツアーを計2回実施 ・町内外住民が集うワークショップ「わづかまちづくりびと交流サロン」を計8回実施	
	茶源郷行政情報配信システム運営事業	交付対象事業	ICTを利用した地域情報化の実現	より快適で便利な暮らしを実現するため、高速通信網を活用して和東町から住民へ行政情報を配信することができた。	
住民が取り組む事業	和東町協働のまちづくり補助金事業	交付対象事業	地域住民によるまちづくり活動に対して補助	地域の課題解決に向け、自主的に取り組む住民団体（4団体）に活動費を補助し、町内外の住民の交流機会の増大や産業の振興を図った。	
成果指標①	成果指標の目標数値	交流人口 H25 71,315人 → H32 250,000人		成果指標の実績値 (26年12月31日時点)	75,571人
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)	茶源郷まつりの規模拡大や「日本で最も美しい村」加盟のPR等により、交流人口の増加につながった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	茶源郷まつり来場者数 H25 6,500人 → H26 7,000人		成果指標の実績値 (26年11月2日時点)	7,000人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	「ずっと暮らしたい活力と交流の茶源郷和東」を目指して町民全体がまちづくりへのかかわりと関心を高められた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	茶源郷行政情報配信システム H26 500台設置		成果指標の実績値 (27年3月31日時点)	388台
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	インターネットに不慣れな高齢者世帯の関心を高めるための広報活動に課題があった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：和東町

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民との協働による手作りのイベント「茶源郷まつり」の開催により、人と人とのつながりや信頼性を高めることができ、地域コミュニティの活性化が促進された。 ・町内で積極的に地域課題の解決に取り組む団体を応援することにより、町内外の住民が参加したこれまでにない新たな公益的・社会貢献的なまちづくり活動が行われた。 ・交流人口25万人に向けて、引き続き観光客受け入れ体制を整えるとともにPRを積極的に行う。 ・茶源郷行政情報配信システム運営事業では、イベントでの広報活動を実施するとともに高齢者にも使いやすいよう操作方法を改良することにより、光ボックスの設置台数拡大を目指す。 <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトスケッチコンテスト・古写真展の開催により、住民の郷土愛の醸成につなげるとともに、町外の方に対して茶源郷和東のPRを図った。
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治茶の一大生産地である本町にて、茶業の推進を図ることで、府をあげて世界文化遺産への登録を目指している「宇治茶」のブランド価値を高めることにつながった。
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民や町内の各種団体が行政と協働で「茶源郷まつり」を開催し、自治意識の高揚が図られた。 ・基幹産業である「お茶」の価値を高め、和東茶ブランドとして全国へ発信するとともに、品質の良いお茶の出品を推進することにより生産者の意欲向上が図られた。 ・住民団体に補助を行うことで、地域を元気にする取り組みが行われたことで地域団体の活動の幅が広がった。
	<p>リーディング・モデル成果</p>	
	<p>広域的波及成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・茶源郷まつりでは、町内外から多くの来場者があり、和東町を広くPRすることができた。 ・「日本で最も美しい村」連合に加盟しPRしたことにより、本町の知名度が向上し、観光客増加につながった。
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学マニフェスト研究所との意見交換などを通して、職員の意識向上につながった。
	<p>その他の成果</p>	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。